

## 第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

1 単元名 みんなが幸せになるために～障がいのある人も共に生きていくために～

2 目標

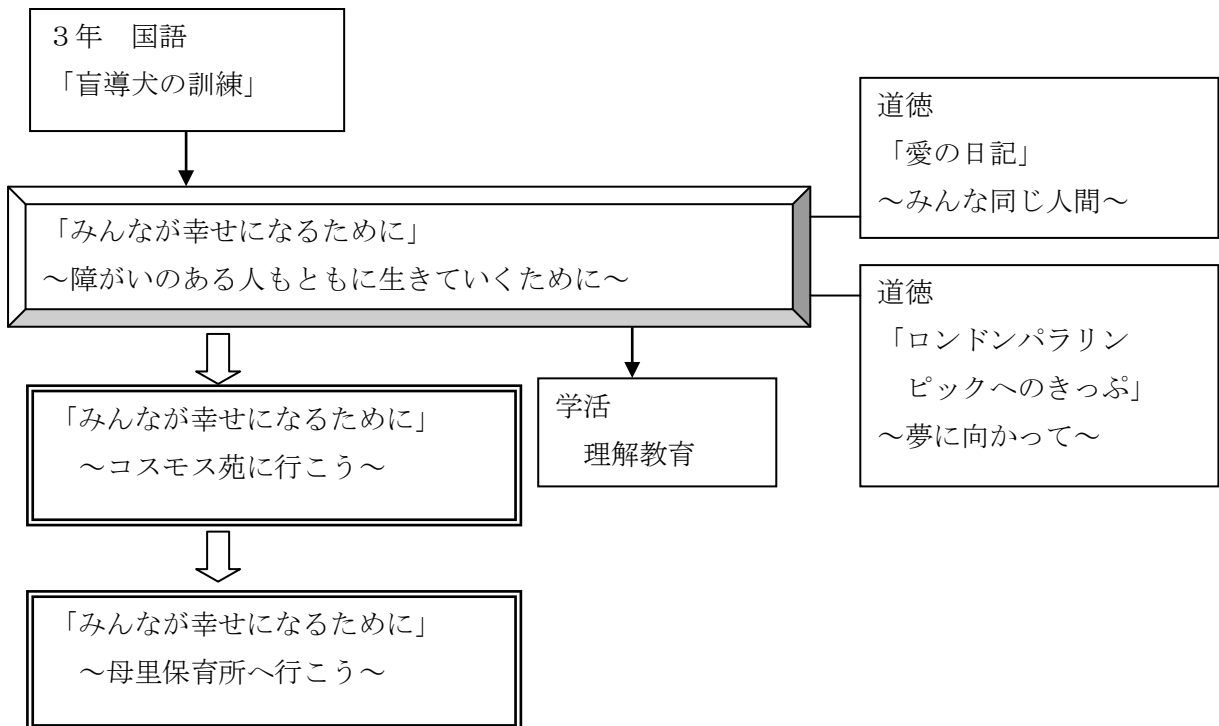
- 障がいのある人について、自分たちが調べたことや取り組みたいことを分かりやすくまとめ、相手に分かるように伝えることができるようにする。（自己表現力）
- 障がいのある人について考えていく活動を通して、自分たちにできることは何かを考え、主体的に取り組むことができるようにする。（追究力）
- 自分や友だちの考えや思いを伝え合ったり、認め合ったりしながら、自分の考えを深めたり広げたりすることができるようにする。（コミュニケーション力）

3 身につけたい情報活用能力

- マッピングやボーン図など課題を立てるための方法を活用しながら、自分の課題を立てる（課題を設定する力）
- 百科事典の使い方を知る（情報を活用する力）
- 資料を提示しながら、わかったことや自分の考えを発表する（調べたことをまとめる力、伝える力）

4 単元設定の意図 ～略～

5 単元構想



6 単元の指導計画及び評価計画（全24時間 本時 13/24）

	学習活動	○教師の手立て ●学校図書館とのかかわり	評価規準・評価方法
第1次 ②	1 「福祉」について、イメージを広げる。(1) 2 大テーマ「障がいのある人も共に生きていくために」について、学習の計画を立てる。(1)	○イメージマップを使ってイメージを広げる。 ○1年間の見通しをもたせる。 ○学習のねらいを明確にし、児童からの意見を取り入れながら計画をたてる。	(追)学習の見通しをもつことができる。 【イメージマップ、発言】
第2次 ⑫ (本時 ⑪ / ⑫)	3 「障がいのある人」について、イメージを広げる。(1) 4 参考資料を読みながらイメージマップを広げ、調べたいこと(中テーマ)を決める。(1) 5 イメージマップをもとに、調べたいこと(小テーマ)を決める。(1) 6 小テーマについて資料を使って調べる。(3) 7 発表の仕方を知り、発表の準備をする。(4) 8 調べたことを発表する。(2) <本時1/2>	○「福祉」と同じようにイメージマップを使ってイメージを広げる。 ●資料(福祉全般)の準備 ●マッピングのやり方の指導 ○考えを整理しながら小テーマを決めることができるよう、ボーン図を使う。 ●ボーン図の使い方の指導 ●百科事典の使い方指導 ●資料(個別のテーマ)の準備 ○発表の仕方をデモンストレーションして見通しをもたせる。 ○「聞き手に伝わる発表」について考えさせ、内容や発表の仕方のポイントをおさえる。 ●プレゼンの仕方の指導 ○聞き手を意識して発表できるよう、わかりやすく伝えるポイントを確認する。 ○友達の発表を聞いて自分なりの考えや感想が言えるように聞くときのポイントを示す。	(追)自分なりの課題を決めることができる。【イメージマップ、ボーン図】 (追)課題について調べることができる。 【情報カード】 (自)聞き手に伝わるよう調べた事を工夫してまとめることができる。【発表原稿、発表資料】 (自)調べた事や自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。【発表】 (追)友だちの発表を聞き、自分の考えや感想を伝えることができる【発言】

第3次 ④	9 体験（アイマスク、車いす）を通して、体の不自由な人の困難さを感じたり、工夫を知ったりする。（2） 10 母里の町の中にあるバリアフリーやユニバーサルデザインなどを探す。（2）	○体験を通して何を考えるのかを事前におさえておく。  ○どんなものがあるのかを予測して意欲を高める。	（追）体験を通して、体の不自由な人の困難さを感じたり工夫を知ったりする。【観察、感想】
第4次 ④	11 調べたことや体験したことをもとに、体の不自由な人の困難さや工夫をまとめる。（1） 12 大テーマ「障がいのある人も共に生きていくために」について、自分たちができることを話し合う。（1）  13 調べたいことや体験したこと、自分の考えを新聞にまとめる。（2）	○これまで学習した情報カードやワークシートなどを参考にしながら意見を出し合う。 ○お互いの考えが広がったり深まったりするように、話し合いをつなげていく。  ○もう一度自分の考えを見直せるよう、発表原稿や体験の感想などを見返すようにする。 ●新聞の書き方の指導	（追）（コ）学習したことをもとに、「障がいのある人も共に生きていくために」について自分とのかかわりや自分にできることを考え、伝え合っている。【発言、感想】 （自）学習したことや自分の考えを新聞にまとめることができる。【新聞】
第5次 ②	14 友だちの作った新聞を読み、感想を伝え合う。（1） 15 学習全体をふり返り、考えたことをまとめたり、学習の進め方について評価をしたりする。（1）	○お互いのがんばりや良さを認め合えるような伝え合いにする。 ○学習全体を振り返り、お互いの学びを認め合うようにする。 ○2学期以降の学習に対する意欲につなげる。	（追）学習全体を振り返り、お互いの学びを認め合うことができる。【感想】

## 7 単元の評価規準

自己表現力	追究力	コミュニケーション力
○自分たちが調べたことや取り組みたいことをわかりやすくまとめることができる。 ○まとめたことを聞き手にわかりやすく伝えることができる。	○誰もが幸せになるために、自分にできることは何かを考え、主体的に取り組むことができる。	○自分や友だちの考えや思いを伝え合ったり、認め合ったりしながら、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。

## 8 本時の学習

### (1) 目標

- 自分の調べたことを聞き手にわかりやすく伝えることができる。(自己表現力)
- 友だちの発表を聞いて、障がいのある人についての知識を広げ、自分なりの感想や考えをもつことができる。(追究力)

### (2) 本時で育てたい力

- ・聞き手を意識し、工夫しながらわかりやすく伝える。(伝え合う力)
- ・調べてわかったことを聞いて自分なりの考えをもち、相手に伝える。(つなげる力)

### (3) 展開

	学習内容と予想される児童の意識や活動	○担任の支援 ●司書教諭の支援 ☆評価
問題意識をもつ	<p>1 本時の学習の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○自分の調べたことを聞き手にわかりやすく伝えよう。</p> <p>○友だちの発表を聞いて感想や考えを伝えよう。</p> </div> <p><b>わかりやすく伝えるポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ、表情や仕草などに気をつけて発表しよう。</li> <li>・聞き手を見ながら、話そう。</li> </ul> <p><b>聞くときのポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役立っていることや工夫されていることを聞き取ろう。</li> <li>・もっと知りたい、どうしてかななど、考えながら聞こう。</li> <li>・自分の体験や知っていることを思い浮かべながら聞こう。</li> </ul>	<p>○発表する人、聞く人それぞれの学習のめあてを確認する。</p> <p>●わかりやすく伝えるポイントについて確認する。</p> <p>○発表を聞いて、自分なりの考えを伝えることができるよう、聞くときのポイントを提示する。</p>
互いに学び合い考えを深める	<p>2 調べたことをプレゼンテーションで発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす           ・スポーツ           ・仕事</li> <li>・盲導犬           ・聴導犬           ・介助犬</li> <li>・マーク (ユニバーサルデザイン)</li> </ul> <p>(このうち3人が本時、4人は次時に発表する)</p> <p>3 聞き手は、それぞれの発表後に感想や考えを伝える。</p>	<p>☆聞き手を意識しながら、わかりやすく発表することができる【発表、発表資料】</p> <p>☆聞くポイントにそって、感想や考えを発表することができる。【発言】</p>
考えをまとめる	<p>4 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>(自己評価) めあてが達成できたか。</p> <p>(相互評価) 本時の学習でよかったこと</p> <p>(他者評価) 教師から</p> <p>5 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○児童の評価を認めるとともに、気づいていないことを助言する。</p> <p>●プレゼンについてよかったことを伝える。</p>

(4) 本時の評価の具体例

評価規準	十分満足	おおむね満足	おおむね満足とされない児童への手立て
自己表現力	聞き手を意識して、表情や仕草、話し方を工夫しながら、わかったことや考えたことを伝えることができる。	聞き手を見て、声の大きさなどに気をつけながら、わかったことや考えたことを伝えることができる。	よかったところを評価し、自分の発表に生かせるようにする。
追究力	友達の発表を聞いて、障がいのある人のために自分ができることを考えて発表することができる。	友達の発表を聞いて、障がいのある人について、わかったことや感想を伝えることができる。	聞くときのポイントについてたずね、わかったことや感想を発表できるようにする。

(5) 研究の視点

- ・ プレゼンテーション形式で調べたことを発表することは、聞き手を意識してわかりやすく伝えるために有効であったか。
- ・ 調べたことを発表し、意見や感想を伝え合うことは、障がいのある人のことを知ったり考えたりするために有効であったか。